

広
報

とうべつ

四季の彩があふれるまち

- 新春放談
- 町のちからを高める
- 文化と賑わい
- 駅前れんが倉庫が生まれ変わる



2006

1 月号

January

町内在住の方に描いていただいた絵手紙



新春放談 町のちからを高める

新春を迎え、新たな年のスタートに、当別町特別顧問の3名の方にお集まりいただき、泉亭町長と、様々な角度から当別町についてお話いただきました。

当別町長 泉亭俊彦

当別町特別顧問 学校法人東日本学園理事長・北海道医療大学学長
(株)ロイズコンフェクト
新和グループ

廣重 力さん(写真:右)
山崎泰博さん(写真:中央)
新井 修さん(写真:左)

はじめに

泉亭町長 今日当別町の特別顧問の皆さんにお集まり頂きました。誠に有難うございます。

現在、社会経済情勢が急激に変化し、地方自治のあり方が問われています。皆様からこの数年間の町政執行と今後のまちづくりなどについて率直な意見をお聞かせください。

今、当別町は平成17年の春に策定した「行財政システム再構築プラン」に則って町政を執行しているところです。このプランは、多方面から注目されているところですが、特に策定にあたっては、重理事長さんに委員会の座長を務めていただき、とても感謝しております。

廣重理事長 私がプランづくりに携わったのは、平成16年10月から約半年間です。再構築プランは、当初から住民の意見を取り入れるという考えを基に多くの町民が集まってディスカッションを重ね作り上げたものです。私自身はお手伝いでしたが、良いプランができたと思っています。

まちの活性化

泉亭町長 新井社長さんから、最近の当別町を、外からどのような見方をされ、どう評価されているのかをお話しいただけますか。

新井社長 まちの活性化には、やはり商店街の魅力が欠かせないものと思います。魅力がないと人が集まってきたりせんから、賑わいも活性化も図られないと思います。

当別の商店街には、正直に言っても魅力が足りないと感じています。当別の店主の皆さんは、家業から事業への転換ということを、これまであまり意識されてこなかったように思います。大都市に隣接しすぎて難しいところも沢山あると思います。が、当別には大学や高校があり、JRや国道、道々などの交通の要衝でもありますから、店主の工夫次第でまちの活性化は可能だと考えます。

私事で恐縮ですが、私は、昭和57年に当別から札幌へ進出して事業を展開してきました。経営者として事業を拡大させ、安定させるために常に考えていることは、いかに優秀な『人材』を集めるか、その『人材』をどう育てていくかということですね。

やはり家業だけで満足してしまつと顧客のニーズを満たせなくなるので、店主の皆さんの意識改革が本当に必要な不可欠であると思います。当別は私の出生地でもあるので、是非皆さんに頑張っていたいただきたいと思ひます。

まちの付加価値

泉亭町長 私は、町長に就任以来、美しいまちづくりを掲げて町政を執行してきました。これは、ただ単に街をきれいにするというのではなく、当別の良さを活かせるまちづくりや人づくりが根底にあります。

昨年、ロイズの山崎社長さんの紹介でアメリカにあるチヨコレートで有名なハーシーという町を観て来ました。ここは企業城下町ですが、町全体を見渡せる丘があつて豊かさを感じました。

山崎社長さんから、そのようなところをお聞かせ願えますか。

山崎社長 ハーシーという町も田園地帯にあります。130年前には何も無いところでしたがミルトン・ハーシーが事業を起こし、会社を設立しました。そして、ゆとりと安らぎが感じられる文化的な街が形づくられていったと聞いています。

私も当別生まれですが、35歳のときに札幌でチヨコレートの製造販売の事業を起こし、資金無しで始めました。事業の拡大を目的に新しい工場を大美に求めましたが、この土地を選んだ理由は2つあります。1つは、この広い田園地帯で商品を作ることが商品に付加価値を与え、ブランド性のある商品としてアピールできると考えたからです。もう1つは従業員の確保です。400名の従業員のうち100名は地元当別、残り300名は札幌です。



JRや国道が整備されていて、通勤しやすいのが魅力の一つです。札幌とのアクセスがとても良く、また、大都市の至近にこのような口ケーションの良いところは、そうそう他にはありません。

泉亭町長 私は、ハーシーを訪れてみて、山崎社長さんが描かれている構想が良く理解できました。ハーシーは、文化の香りがする町で、美術館などはとても素晴らしい。当別にも地域に根ざした美術館や博物館があると、ステータスが高まるかと考えています。

若者の力

泉亭町長 現在、北海道医療大学の学生たちが、町内で福祉分野のボラ

ンティア活動を行い頑張ってくれています。中には、卒業後も当別に住み続け、NPOを立ち上げ福祉事業を展開している若者もいます。重理町長さんに人づくりも含めて、このあたりをお話ししてもらえますか。

●**廣重町長** 時代の移り変わりと共に、大学生の感覚も変わってきているようです。

最近、特に福祉を通して、大学の存在基盤は地元にあるという発想が非常に強くなったと感じ、とても良い方向に向かっていると思ひます。

北海道医療大学で学ぶ学生は、40%近くが本州から来ています。色々な地域や環境で育った若者の40%以上が、現在、当別で生活しています。

特に最近では、学生と町民とがイベントなど様々なところで交流し始めています。これからのまちづくりの上で、とても好ましい関係になってきたと感じています。

また、福祉ボランティアでは、長年にわたって学生たちが主体となっていて、大学のキャンパスに身体の不自由な方々に参集していただき、身障者のためのオープンカレッジを開催しています。この間、ボランティア文化フェスティバルという全国的な大会において、この取り組みが評価され、グランプリを受賞しました。

医療大学の学生たちは、地域に溶け込み、個性的な活動をしています。言い換えれば、地元の人々の理解と協力がなければ、ボランティア活動は行えません。

そういう意味から、医療大学ではこれまで以上に大学のキャンパスを地域の人々が活用しやすい大学にしていきたいと考えています。

泉亭町長 私は、大学の知的資源は計り知れないもので、町政にとっても大きな影響力があると考えています。ですから、大学との連携は今後もさらに必要不可欠なものになると確信しています。その為には、一人でも多くの大学生に当別という「まち」を知ってもらい、まちの中に溶け込んでほしいと考えています。

当別の農業者が学生に農業を体験してもらおう面白い企画（農家ステイ）

を行っていますが、大学生には、是非、農家さんとの触れ合いの中から、町の魅力を感じ取ってもらい、貴重な学生生活の中で、当別でしか味わえない経験に付加価値が加わると思っています。

■ まちの魅力発掘を

泉亭町長 大学との連携は再構築プランの重点施策の一つに掲げていますが、この他に都市計画事業の推進やバス交通体系の確立を掲げています。

新井社長 よくタクシードライバーの方から「当別の街中へは入りづらく、よく道に迷う」と聞きます。

今、私の店舗（プレイランドハッピー当別店）前の駅前大通を整備されていますが、駅から国道275号まで一直線でつながり、町に來られる方が街中に入りやすくなります。ですから、この道路整備と合わせて沿道の利用を高めることが、町の活性化に必要不可欠であると考えますね。

泉亭町長 私も、そのように考えています。現在、道路拡幅に伴う建物の建替えが始まっています。平成19年には道路整備が完了しますので、街中の様子が一変してくると思います。

また、バス交通体系の確立では、町内でバスをそれぞれ運行している

事業者の一元化を図って、効率的で利便性の高いバス運行の実現を検討していますが、町と各事業者が協力し合うことよって実現されるものです。これからのまちづくりは、行政主導ではなく、民間のノウハウをどんどん取り入れて進めなければならぬと考えています。

山崎社長 まちづくりに、住民がこの土地の潜在的な魅力を再確認していくことが必要ではないでしょうか。当別には北海道の原風景があり、田園地帯でチョコレートを作っていることが商品に付加価値をつけ、テイストとなっているのです。

私は、このことをコンセプトに事業を展開しています。

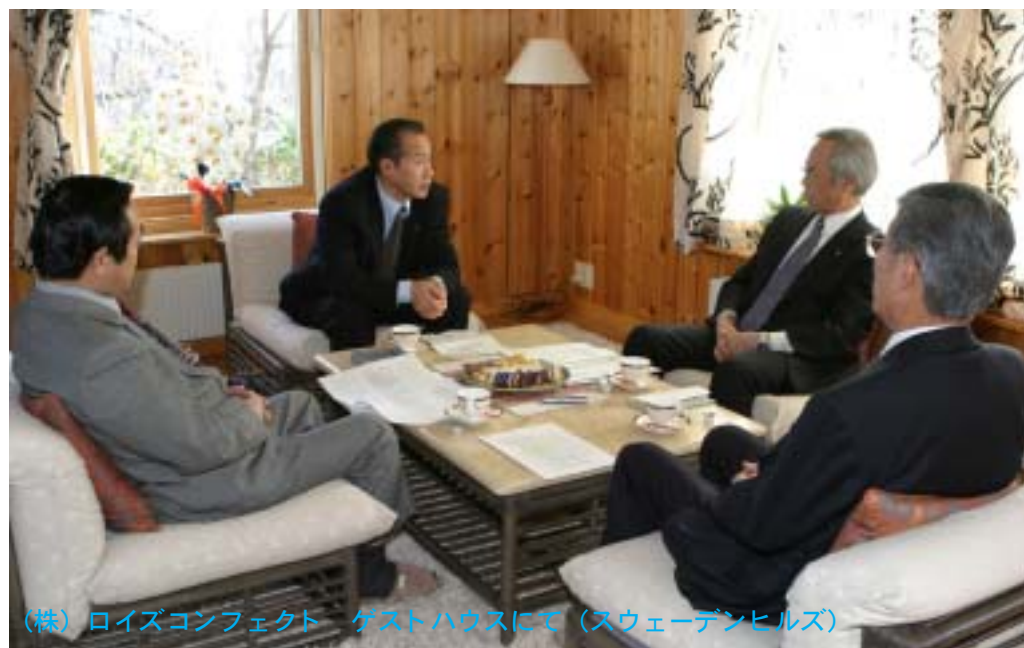
当別の潜在的な魅力を掘り起こしていくことが、まちづくりの原点ではないかと考えます。

泉亭町長 全国の自治体では、そのほとんどがまちを活性化させよう、発展させようともがいています。その為には、そこで住む、学ぶ、働く人々のエネルギーが必要です。

今日お集まりの皆様

は、大学や企業のトップとして、手腕を発揮されている方々ですので、今後とも当別のまちづくりに対して、それぞれの立場で培われてきた経験や知識を十二分にお貸し願えればと期待しています。

今日は、本当に有難うございました。



(横) ロイズコンフェクト ゲストハウスにて (スウェーデンヒルズ)

駅前 れんが 倉庫が生まれ変わる



名称は「当別赤れんが6号」

JR石狩当別駅前のれんが倉庫を活用した、文化創造や情報発信などによって賑わい創出などを検討する、当別町文化創造と賑わい創出検討委員会委員長 江口正尊 北海道医療大学教授）が、11月21日（月）をもって、全7回の委員会を終了しました。検討内容をまとめた報告書は、12月12日（月）に町長へ手渡されました。

委員会では、釧路市、白老町などの先例地視察のほか、勉強会の実施、北海道医療大学の学生を対象としたアンケートなども行い、施設の名称やデザイン、運営に係る理念や運営団体の誘引などについて、一定の結論をまとめました。

また、施設の名称は、「当別赤れんが6号」と決定し、施設のイメージが提案されています。

今後、施設の運営に向けて、検討委員会のメンバーが主体となって準備委員会を組織し、広く住民の方からもメンバーを募っていく予定です。

◆担当 企画課企画振興係（☎23 3042）



当別町人事行政を改めてお知らせします。

12月号町広報誌で当別町人事行政等についてお知らせしましたが、平成16年度と平成17年度の内容が混在し、説明が不足していた箇所がありました。

不足していた内容について、改めて説明を加えると共に、記載に不備がありましたことを深くお詫びします。

◆特別職の報酬等の状況（6ページ）

町長・助役・教育長の「期末手当」の記載内容は、平成16年度分の削減内容です。

なお、平成17年度の期末手当については、町長60%、助役・教育長30%と、さらに削減率を増やしています。

また、議長・副議長・議員の期末手当は年間3.3月分ですが平成16年度・17年度にそれぞれ20%削減しています。

◆諸手当の内容（6ページ）

職員の「期末・勤勉手当」は、合計額から平成16年度で8%、平成17年度で11%を削減しています。

「管理職手当」の支給率は、平成16年度で給料月額率の部長職15%、課長職10%、浄水場長7%、保育所長及び副園長6%でした。また、平成17年度は、部長職12%、課長職8%、浄水場長6%、保育所長及び副園長5%と支給率を縮減しています。



下水道事業運営委員会

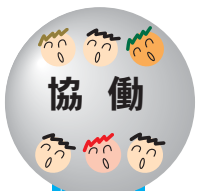
暮らしに欠かすことのできない下水道事業の運営に、町民の意見を反映させる下水道事業運営委員会の第2回会議が11月29日に開催されました。本町の下水道会計は、これまでの下水道整備の維持管理費や建設に要した起債償還額（借金の返済）の増大、近年の下水道使用料の減少などから、近い将来赤字になる可能性があります。

今後の健全な下水道運営に向けての意見を求めるため、町長から委員会会長へ諮問しました。委員会ではこの諮問を受け、下水道事業の現状を踏まえ、望ましい経営のあり方などについて審議していきます。



高島会長へ諮問書の受け渡し

- ◆ 委員会は公開していますので、傍聴することができます。当日、直接会場にお越しください。
- ◆ 会議日程、会議録は下水道課に備えるほか、ホームページにも掲載しています。
- ◆ 担当 下水道課庶務係 (☎23-3542)



協働の指針策定検討委員会

7月から検討を進めてきた委員会は、11月25日に第5回会議を開催しました。会議では、子供からお年寄りまで「協働の指針」が浸透するように「私が変わる!! まちが変わる!!」をキャッチフレーズに選んだ後、提言書に盛り込む内容を議論しました。次回は、今までの委員会で出された意見を基に作成した提言書案について、議論を進めます。

主な意見

- ◆ 協働の必要性について
- 協働に参加することにより、自分の住んでいる地域に興味や関心を持つことができ、まちが好きなになる。
- 住民が関わることにより、自ら納得することができる。
- 他の人との接点が増え、いろいろな人を知ることができ。
- デメリットとしては、自分の時間が割かれ、煩わしさも伴うこと。
- ◆ 今後の取り組みとして、提言書に盛り込むべき項目
- 人材の育成・発掘
- 町内会、PTAや各種団体のネットワーク化と拠点づくり
- 住民と行政の意識改革
- 子育てや地域福祉など、町全体で見守り支える仕組みづくり
- 住民の意見が行政の施策に反映されるシステムづくりなど

募集

当別町子育て行動計画推進協議会委員

◆ 指針の策定に当たって
○ まず、できる範囲での協働を考え、実効性のあるものを具体化するよう検討した方がいいのではないか。

- ◆ 委員会は公開していますので、傍聴することができます。当日、直接会場にお越しください。
- ◆ 委員会で配付された資料や次回委員会の開催日程は、町のホームページに掲載しています。
- ◆ 質問や意見をお寄せください。
- ◆ 担当 企画課企画調整係 (☎23-23393・FAX25-5555)

子供たちが安心して生み育てられる環境づくりを協議するため、子育て行動計画推進協議会の委員を募集します。

協議会では、平成17年3月に策定した「当別町子育て行動計画」に基づいて、町が実施する「次世代育成支援施策」等に対し、町民の立場から具体的な提言をいただきます。

任期 平成18年2月1日～平成19年3月31日

応募資格 次世代育成支援(子育て支援・少子化対策など)に関心がある町民。

応募方法 住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・簡単な自己PR文と、次世代育成支援に関する自分の考えをまとめた作文(400字程度)を提出。

申込期限 1月20日(金)

募集人数 2名
申込先・詳細 子育て推進課子ども係 (☎23-3024)



みんなでも考えよう！ごみ問題

家庭ごみ減量化・有料化に関する懇談会

11月開催

先月号に引き続き、各会場で行われた懇談会での質疑内容を掲載します。

13日「ゆとろ」「金沢会館」

19日「西当別コミセン」「ゆとろ」

20日「西当別コミセン」

12月開催

1日「春日町会館」

問

アクションプランの目標値まで減量する場合、どの程度の減量が必要か。

答

アクションプランでは「1人1日100グラム」削減する目標を掲げています。例えばこの目標を40リットルの袋で換算した場合、4人世帯で1カ月当り2袋程度の削減量となります。

問

ごみ処理施設へ直接搬入する場合も、手数料が掛かるのか。

答

指定ごみ袋でステーションに出すごみには、収集運搬費とごみ処理費の一部を負担していただくこととなりますので、直接処理施設へ搬入する場合は、焼却や破砕などごみ処理費のみの負担となります。（ごみの収集運搬費用は除かれます。）

問

戸別収集の方がよいと思うが、将来ステーション方式をやめないのか。また、戸別収集にする場合、どの程度の負担になるのか。

答

粗大ごみは、電話で申し込みを受けて、軒先から収集する考えですが、それ以外のごみは、基本的にステーション方式を継続する考えです。現行のステーション方式での収集・運搬費用は、約7千円ですが、戸別収集する場合は、その倍くらいの費用がかかるかと試算しています。

特に、生ごみが入っている燃やせるごみは午前中に回収する必要があります。限られた時間内に戸別収集を完了するには、収集車の増車や作業員の増員が必要になるからです。

問

分別種類を増やす予定はないのか。

答

ペットボトル以外のプラスチックについては、排出状態や処理ルートを調査して費用に合った効果が得られるかを検討していきたいと考えています。また、雑紙のリサイクルについて調査・検討中です。



懇談会でごみ袋の説明を熱心に受ける出席者。

問

白色トレイの回収箱設置店は、町内に1店しかないがどう考えているのか。

答

トレイの使用店に、回収箱設置の働きかけをしていきます。

問

マンションに住む人のごみ管理はどうなるのか。また、学生のごみの出し方が不適切で困っている。

答

マンション専用の箱などを設置し、管理者の責任で管理していただくように働きかけます。学生への対応は、大学側が新入生に対しガイダンスを行っているので、町もPR活動に協力して行くことを考えています。

問

指定ごみ袋のサイズや種類はどのようにするのか。

答

指定ごみ袋を一種類とし、サイズは、10・20・30・40リットルの4種類を考えています。各市町村で様々な工夫をしていますが、ごみ袋を種類別に設定すると、たくさんのごみ袋を買い置くことになり、皆さんの負担となりますので、簡単で無駄の少ない方法だと考えています。

訂正

広報とうべつ12月号の13ページの「年末年始の休業日のお知らせ」の中で、一般家庭ごみ収集の休業日に誤りがありました。

訂正し、お詫びいたします。

誤	正
12月31日～ 1月3日	12月31日～ 1月4日

詳細は家庭ごみ分別カレンダー参照。

担当 環境対策課（☎23-2503）

中学生議員が議会体験

(11月28日)



今年で4回目を数える「当別町子ども議会」が役場議場で行われ、町内の各中学校から選ばれた議員21人が出席し、本番さながらの議会が行われました。

議場入りした議員は、緊張した面持ちで自分の名前がある席に着き、議長の渡辺涼太君（西当中3年）と副議長の中島一輝君（弁華別中3年）の進行で、8人の議員が泉町長に質問を投げかけていました。

「ふくろう^{あんどん}行灯」でまちを明るく

(11月29・30日)



「当別ふくろうの会」が2月9日に予定している「ふくろう展」をふくろう行灯で飾ろうと、講習会を開催し、13人の会員が集まりました。北広島在住の榎湯^{ますがた}先生に手ほどきを受け、参加者は「ふくろうの形にしんちゅう線をつなげるのが難しい」と言いながらも、丁寧な手つきで楽しみながら行灯を作っていました。

「はつらつ当別」で演奏会

(12月3日)

12月に春日町に開設した総合支援センター「はつらつ当別」(医療法人豊生会)で、ハート音楽院による演奏会が行われました。

デイサービスに通う方や関係者が集まり、ギターと大正琴の音色に耳を傾け、「故郷」など懐かしい曲を口ずさみました。

開設したばかりの明るい施設では、デイサービスに通う方々を3～5名のスタッフがお世話し、基礎健康チェックやリハビリ、外出活動などで健康と生きがいづくりが行われていく予定です。

タウン

トピックス

Town Topics

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み

情報課広報広聴係

TEL 23-3069

岩出山から特別列車 友好いつまでも

(11月26～28日)



当別町と姉妹都市を結ぶ岩出山町の町民60人が、特別列車「岩出山町民号」で来町しました。

26日の午後にはJR当別駅に着いた列車からは、よろい姿の佐藤町長や町民が姿を見せ、町民約400人が出迎えました。滞在中に、伊達邦直主従北海道移住の地、当別神社、伊達記念館、スウェーデン交流センター、ロイズ工場などを視察されたほか、歓迎セレモニーなどで両町民との交流を深めました。

岩出山は平成18年4月に近隣7市町と合併し「大崎市」となることから、町として最後の来町となりますが、今後も交流を深めることを確認しました。



町長の日記

17年12月16日（金）

今朝、高橋知事に当別ダム早期完成を要望する為、内海道議さんの計らいで竹田議長さんと三人で道庁へ行った。

広い知事応接室に約束の時間に知事がにこやかな笑顔で入ってこられた。

「様々な意見を良く聞いた結果、当別ダムは継続すべき事業だと判断致しました。」と云われ、何かふっ切れたようにとても爽やかな表情だった。

新聞が連日ダム建設に批判的な報道をしている中で正常に判断された知事の勇氣に心から敬意を表し感謝した。

知事は当別の老人クラブやボランティアの女性グループなど31の団体が白樺コミセンに入り切れないほど集って当別ダム中止に危機感を抱いた町民集会のことを良く承知されていた。

最近“環境に優しく”とか云ってダムを造る行政が時代に逆行しているように発言する人もいるが、当別町は洪水や水害だけでなく飲料水の質が悪い点と量が不足していることを悩んできた町なので、何とか水利権を確保しようと何十年間も努力しているのに、この町の人々の願いが理解してもらえないことに私はいらだちを感じていた。

丁度、今日は竹田議長が北海道社会貢献賞を受けられる日だったので知事からお祝いの言葉があった。

その時、逆に竹田議長から知事に今回のご苦勞をねぎらう言葉がとてもすばらしかった。

「私は受賞よりもダム継続決定の方がはるかにうれしい」と述べられたのです。

人間には学歴や地位だけではなく“人に優しい”人生を積み重ねられた人でなければ出てこない言葉があると思った。

すばらしい朝だった。

当別町長衆亭俊考

「ヤーコン」甘くておいしいね

(12月5日)



町内のおいしい野菜を子供たちに給食で味わってもらおうと、昨年に続いてヤーコンが登場しました。

当別町では、平成15年から農業支援センター内のヤーコン倶楽部が栽培を始め、今年11月に5トンの収穫がありました。

ヤーコンは、歯ざわりがよく、甘さがあり、オリゴ糖がたくさん含まれていることで近年注目されている野菜です。今回の給食には、千切りにしてごぼうやちくわと混ぜた「きんぴら」として登場。

弁華別小学校6年生の児童は「野菜には好き嫌いがあるけど、これは柔らかくおいしい」ととても食べやすかった様子で、みんな満足していました。

日ハム選手・コーチと楽しく交流

(12月18日)



当別ファイターズクラブが、「日本ハムファイターズの森本^{ひちより}稀哲選手・白井一幸ヘッドコーチと交流会」を開催しました。会場の田西会館には、120人の同クラブ会員が集まり選手と楽しい時間を過ごしました。

トークショーでは、負けが込んでいる時の対処方法や私生活の話題の質問に、冗談も交えながら笑顔で答える2人のトークに拍手も沸き起こり、会場一体になって盛り上がりました。最後に、森本選手から「来シーズンの目標は、レギュラー奪取とプレイオフ進出」と力強いメッセージが送られました。

新成人のみなさん おめでとうございます

今年、町内で成人を迎えるのは、昭和60年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた男性126人・女性135人の合計261人です。成人を迎えられた方の今後の活躍を期待いたします。

*当別町成人式

◆日にち	平成18年1月8日(日)	受付	10:00~
◆場所	総合体育館(白樺町)	式典・記念写真撮影	11:00~12:00
		記念パーティ	12:00~13:00

◆記念写真申込は当日会場で受付いたします。(1枚 税込1,000円)

◆連絡先・詳細 社会教育課社会教育係(「総合体育館」内)・☎22-3834)

給与・年金所得者の還付申告と住民税申告

1月23日(月)から、給与・年金所得者を対象に、所得税の還付申告と住民税申告を、下記の要領で受け付けします。(問合せ 税務課税務係 ☎23-2332)

所得税の還付申告ができる方(給与年収・年金収入のみの方)

所得税が源泉徴収されているが、年末調整が済んでいない方
退職所得があり、源泉徴収税額のある方
医療費控除を受けることができる方
新築住宅や中古住宅を取得した方や、住宅の増改築をした方



所得税・住民税の申告に必要な書類

上記①～③に該当する方と住民税申告の方に必要なもの

- ◆源泉徴収票(支払い金額と源泉徴収税額がわかるもの)
- ◆印鑑
- ◆金融機関の口座番号などが分かるもの(本人名義のものに限る)
- ◆国民健康保険料、国民年金保険料、介護保険料の領収書(平成17年1月から12月までに支払った分、社会保険料控除に該当する方)、生命保険、損害保険料控除証明書(生命保険料控除に該当する方)

上記③に該当する方が必要なもの

◆医療費の明細書(17年中に支払った医療費を医療を受けた人や病院ごとに集計したものが必要となりますので、事前に集計してからお越しください。明細書は、税務課税務係に用意してあります。)

◆医療費の領収書、レシート

医療費控除を受けることができる方は、支払った額が10万円または、合計所得金額の5%のいずれか少ない金額を超えた場合となります。

上記④に該当する方が必要なもの

◆直接税務課税務係までお問い合わせください。

住民税の申告について

確定申告の義務がない方でも、国民健康保険に加入している方や公営住宅の申し込みや金銭借り入れの手続き、老人医療費、児童手当などの受給手続きに所得税課税証明書が必要となる方は、住民税の申告が必要となります。

法定調書の提出について

年末調整に伴う平成17年度分給与支払報告書(総括表)・個人別明細書の提出は、次のとおりです。

◆提出期限 平成18年1月31日(火)

◆提出場所 役場税務課税務係

給与支払報告書は、平成18年度の町・道民税の計算の元となる大切な資料ですので、早めの提出をお願いします。

白色事業者(営業・不動産等)を対象とした収支内訳書の記載相談

例年、事業所得の確定申告の受付の時に収支内訳書を記載されていない方が多く、役場での受付時に作成することで、ほかの申告者の待ち時間が長くなることが見受けられます。

町では、収支内訳書の記載相談日を設けましたので、事前に必要な書類などを整理の上、お気軽にお越しください。

なお、2月16日(木)から行う確定申告の受付で、収支内訳書が作成されていない場合は、受付できない場合があります。また、青色事業所得者は、役場で申告することができません。

◆受付 平成18年1月23日(月)～

◆場所 役場大会議室(1階)

午前を還付申告、午後から収支内訳書記載相談としますが、都合の悪い方はこの限りではありません。

収支内訳書(見本)



インターネットで申告受付や確定申告書の作成ができます

◆地方税の申告受付 北海道では、平成18年1月よりインターネットによる法人道民税、法人事業税の申告受付を開始します。利用できるのは、北海道に申告を行う納税者で、利用届出の手続きをされている方です。

利用開始の方法など、詳細についてはエルタックスホームページ(<http://www.eltax.jp>)をご覧ください。

◆確定申告書の作成 国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp>)では、インターネットを利用して所得税や消費税の確定申告書を作成することができます。

子育て

第2回ファミリーサポートシステム講習会の受講生を募集

ファミリーサポートシステムは一時的、臨時的に子育ての援助を必要としている家庭を地域の方が支援していく仕組みです。

あなたも「協力会員」になって子育てのお手伝いをしてみませんか？

町では、協力会員になっていたための講習会を開催します。

▼講習内容 協力会員として子供の援助に必要な講座、全18時間を受講。

▼参加要件 町内に在住または在勤の20歳以上で講習全日程に参加可能な方。

▼講習日時 講習は全て2月開催。
ゆとろ～3日(金)・10日(金)・17日(金)・21日(火) 9時～12時
西当別コミセン～7日(火)・14日(火) 9時30分～11時30分
保育実習～9日(木)・15日(水)・23日(木)のいずれか1日を受講。
 9時30分～11時30分

受講料 無料

申込締切 1月25日(水)

その他 全講座を修了した方に、修了証書をお渡しします。

4月から援助活動ができる方は協力会員としてファミリーサポートセンターに登録できます。

申込み・問合せ 子育て推進課 子育て支援係(「ゆとろ」内・☎25-2658)へ。講習内容などは町ホームページに掲載しますが、詳細は子育て支援係に問い合わせください。

障害者自立支援法学習会

- 日時 2月4日(土) 13時～15時
- 場所 ゆとろ(西町)参加無料
- 主催 町福祉課福祉係

保育

平成18年度保育所入所児童を募集

保護者のいずれもが就労などの理由により家庭で保育ができない児童の入所を受け付けます。

▼受付期間 1月6日(金)～31日(火)まで。

▼開設期間 通年開設(日曜・祝祭日・年末年始は休所)

受付先

東・西・ふとみ保育所 各保育所か子育て推進課子ども係(「ゆとろ」内・西町)へ。

東・西・ふとみ保育所は、世帯内で課税されている全員の平成17年分所得税額、平成17年度町民税額を証明する書類が必要です。(保育料は課税状況により決定)

弁華別・蕨岱・東裏保育所 直接各保育所へ。

▼保育時間・年齢

東・西・ふとみ保育所

時間 月～金曜は、7時30分～18時30分。(土曜は12時30分。特別

な事情のある場合は18時30分まで。)西・ふとみ保育所で延長保育(18時30分～19時30分)を別料金で実施。

年齢 6カ月児～5歳児。(東保育所は2歳児～5歳児)

弁華別・蕨岱・東裏保育所

時間 月～金曜の8時30分～17時(土曜は12時まで。)

年齢 2歳児～5歳児。

❖**障害児保育**

集団保育や毎日の通所が可能な、平成15年4月1日以前に生まれた児童を対象に東・ふとみ保育所で実施。

❖**産休・育休明け入所の予約受付**

「産後休暇・育児休業」明けに入所を希望する方(年度途中の入所希望者)は、出産前から入所の予約ができます。

❖**一時保育(ふとみ保育所で実施)**

保護者のパート就労(平均週3日以内)や傷病などにより、家庭で保育ができない児童を一時的に保育所で預かります。

▼詳細 子育て推進課子ども係(「ゆとろ」内・☎23-3024)

平成21年5月までに裁判員制度がスタートします 参加しませんか

裁判員制度出張講座 in 当別

「裁判員制度」とは、国民のみなさんの中から選ばれた6人が裁判員として、3人の裁判官と一緒に、刑事裁判に参加し、被告人が有罪か無罪か、有罪の場合はどのような刑にするのかを決める制度です。

町民皆さんに「裁判員制度」を理解していただく講座を、2回にわたり開講します。参加は無料で、1回のみ、または連続受講もできます。

第1回講座 はじめまして！裁判員制度です

日時 1月23日(月) 18時～20時 **会場** ゆとろ(西町)
内容 ①中村雅俊監督・主演ビデオ上映「もしもあなたが選ばれたら」
 ②Q & A～刑事裁判・裁判員制度
 裁判官が制度を解説。クイズにも挑戦！

あなたが裁判員に
選ばれるかも・・・

第2回講座は、2月27日(月)に予定しています。詳しくは、町広報2月号でお知らせします。

申込み・問合せ 1月18日(水)までに、役場情報課 広報広聴係(☎23-3069)に申し込みください。

主催 札幌地方裁判所・当別町



資格更新

排水設備工事責任技術者は資格の登録更新手続きを

「排水設備工事責任技術者」の資格登録者は、4年ごとに登録更新の手続きが必要です。

対象者には、「資格登録更新実施案内」と申込書などを、後日郵送しますので、定められた期間内に手続きをしてください。

対象者 平成13年度に北海道排水設備工事責任技術者試験に合格した方、または更新手続きをした方で、登録期間が平成18年3月31日で満了する登録者。

受付期間 1月16日(月)～20日(金)9時～17時(閉庁日は除く)(受付場所は、郵送された実施案内書で確認ください。)

手数料 5,000円

問合せ 下水道課庶務係 (☎23-3542)

第25回裁判所市民講座

札幌家庭裁判所が行う「市民講座」にお気軽に参加ください。

■日時 1月20日(金)14時～16時

■場所 札幌市中央区北1条西13丁目(札幌市教育文化会館)

■募集人数 先着130名

■申込方法 電話で申し込みください。(受付9時～17時)

■申込先 札幌家庭裁判所総務課庶務係 (☎011-221-7318)

国勢調査人口速報

(当別町集計分)

男 9,681人 女 10,301人
合計 19,982人

国勢調査にご協力いただきありがとうございます。

申請

入札参加資格審査申請(中間年申請)を受付けます

▼受付内容 平成18年度の工事・設計業務・物品・設備管理委託などの入札参加資格審査申請(中間年申請)

▼添付書類 納税証明書(法人税または法人事業税、消費税及び地方消費税の写し。町内業者は法人住民税)など。

▼受付日時 2月1日(水)～15日

(水)(土・日曜・祝日は除く)の9時～11時30分と13時～16時まで。

▼受付場所 役場小会議室(3階)

▼申請用紙

①建設工事・設計業務

北海道土木協会(札幌市中央区北4西4・ニュー札幌ビル)で販売。

②建設工事に伴う物品・一般物品・設備管理委託など

財政課管財係に備え付け。

(町ホームページよりダウンロード可。)

▼問合せ 財政課管財係 (☎23-2331)

1月7日は当別消防出初式

式典には一般の方も出席できますので、是非お越しください。

❖日時 1月7日(土)11時～

❖会場 町総合体育館(白樺町)



困ったときの納税Q&A



Q

先週町税を納付したはずなのに、督促状が送られてきました。どういことでしょうか?

A

まず、お手元にある町税の領収書と督促状の税目と期別が一致しているか確認してください。

実際に税金を納めてから町で納付確認ができるまで日数かかります。その間の行き違いで督促状が送付される場合があります。このようなことを防ぐためにも、納期限までに納付しましょう。

▼夜間納税相談 毎月第2・第4木曜日 19時30分まで

▼問合せ 納税課納税係 (☎23-2341)

自衛官募集案内

江別募集事務所 (☎011-383-8955)
役場住民生活係 (☎23-3209)

募集種目	応募資格	試験期日
2等陸・海・空士(男子)	18歳以上27歳未満の者 (受付は2月6日まで)	2月10日・11日

町内の募集相談員に、お気軽にご連絡ください。

◇木屋路 一郎(若葉・☎22-3406) ◇中川昭典(弁華別・☎23-2687) ◇下段寿之(樺戸町・☎23-1622) ◇野口和之(白樺町・☎23-2226)

◇長谷川俊夫(緑町・☎23-4201)

自衛隊ホームページ http://www.sapporo.plo.jda.go.jp/

介護保険 安心して老後を迎えるために

ますます進む高齢化に備え、介護保険制度を維持し、元気で自立した生活を送ることができる環境づくりが重要です。介護保険法の改正に伴い、当別町でも介護保険の給付や保険料の見直しを行い、来年度から介護予防を重視した新たな事業計画を実施します。

みなさんが、よりいきいきと暮らし、必要な介護や支援を利用できる介護保険制度の説明会を開催しますのでご参加ください。

介護保険住民説明会～高齢者の課題を一緒に考えませんか？

❖会場 ゆとろ（西町）
❖日時 1月24日（火）
18時30分～19時30分
❖内容 介護保険改正の
ポイントとまちづくり

❖会場 西当別コミセン（太美町）
❖日時 1月25日（水）
18時30分～19時30分
❖内容 介護保険料について

◆傍聴できます◆

第3期町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会

❖会場 ゆとろ（西町） ❖日時 1月19日（木）19時～
❖議題 計画全体案の提示と検討



詳細 福祉課介護サービス係（「ゆとろ」内・☎23-3029）

医療
大学

歯の健康プラザ情報

見て聞いて体験してみよう

①初めてのヨガ

ヨガを体験しませんか？あいの里や太美で指導されている先生がプラザに来てくれます。

❖日時 1月28日（土）

10時30分～12時

❖会場 「歯の健康プラザ」（JR当別駅南口横）

❖対象 一般町民の方（15名）

❖参加費 800円

❖持ち物など バスタオルなど敷ける物を持参。動きやすく、素足になれる服装でお越しください。

❖講師 太田裕子さん

❖申込み 同プラザ所長 千葉
☎090-9515-1706

年金

読んで得する年金・国保のお話

国保

誕生月には、現況届の提出が必要です

国民年金を受給している方は、毎年、引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するために、誕生月に現況届の提出が必要です。

社会保険業務センターから送付された現況届は誕生月の末日までに届くようにお出しください。

なお、ご自分で記入することが困難で、ほかの方が記入されるときは、代筆者の氏名、住所などを必ず記入してください。

現況届の提出が遅れた場合は、年金の支払いが一時止まることもあります。提出後、随時さかのぼって年金を受け取ることができます。

「現況届」についてのお問い合わせは、札幌北社会保険事務所（☎011-717-4111）へ。

老齢福祉年金や20歳前の障害による障害基礎年金を受給している方は、誕生月ではなく、毎年、指定された期限までに役場国保年金係に提出してください。

受けている年金の種類などによって、医師の診断書などが必要な場合があります。

◆役場窓口年金相談日

1月11日（水）・25日（水）

役場国保年金係へお気軽にお越しください。

遠隔地国民健康保険被保険者証

国民健康保険被保険者証は、修学や旅行などの理由で別個に被保険者証の交付を受けることができます。

- (1) 仕事の都合や旅行などで一時的に住所を離れて過ごす方～手続きには行き先の住所を確認の上、被保険者証を持参してください。
- (2) 修学のため、実家から離れて暮らしている方～手続きには学生証または在学証明書と被保険者証を持参してください。

医療費節約のポイントパート2

悪い生活習慣を改善

今現在、健康だと自負している方は、次のような生活習慣はありませんか？

- いつも満腹になるまで食べる
 - 近くでも車を使う
 - 毎晩のように晩酌する
 - 野菜をあまり食べない
 - たばこを吸う
 - 休みの日はごろ寝をしている
- 一つでもあったら生活習慣病の危険性を高めます。

町で実施している基本健康診査や健康相談を活用し、少しずつ生活改善しましょう。

◆年金保険相談所の開設（札幌北社会保険事務所）

日時 1月20日（金）・10時～15時

場所 商工会館（錦町）

お済みですか

自動車の登録手続き

次の場合には、自動車の登録手続きが必要です。

- 住所や名前が変わったとき
- 車を売ったり買ったとき
- 車を使用しなくなったとき
- ナンバープレートを紛失、破損したとき
- 札幌以外のナンバープレートで車を使用しているとき
- ローンの支払いが終わったとき
- 車検証やステッカーを紛失、破損したとき
- 後ろのナンバープレートに封印が付いていないとき

なお、詳細は、車検証を用意してから下記へ問い合わせください。

▼問合せ 北海道運輸局札幌運輸支店登録部門（☎011-731-7169/ホームページ
http://www.hkt.mlit.go.jp/sapporo/）

ご存知ですか

情報公開・個人情報保護 総合案内所

北海道管区行政評価局では、行政機関などの情報公開・個人情報保護について、次のような疑問・質問にお答えします。

- 情報公開法や個人情報保護法ってどういう法律なの？
- 行政文書の開示請求はどのようにしたらできるの？
- 開示の実施にはどのくらい手数料がかかるの？
- 私の個人情報はどのように保護されているの？
- 個人情報保護法の訂正請求、利用停止請求って何？

▼相談先 北海道管区行政評価局
札幌市北区北8条西2丁目（☎・FAX 011-708-0638）

開所時間 月曜～金曜 8時30分～17時（祝日・休日、年末年始を除く）

参加しませんか

「わが村は美しく・北海道」 運動第3回コンクール

北海道開発局では、地域づくりに貢献する団体を広く紹介し、活動を支援しています。自慢の活動をコンクールに応募しませんか。

■応募期間 1月4日（水）～3月10日（金）（当日消印有効）

■応募対象・資格 北海道の農山漁村で、地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりに貢献した活動を行っている団体。

- ①景観部門②地域特産物部門
- ③人との交流部門

特に優良な活動を実践されている団体や市町村を表彰します。

■問合せ 札幌開発建設部 土地改良情報対策官（☎011-611-0111・内線2424）

北海道開発局ホームページ
http://www.hkd.mlit.go.jp/

あそ雪の広場

2月18日（土）・19日（日）
阿蘇公園・まちの駅「アウル」

大雪像、滑り台、よさこいソーラン、
スノーモビル・雪上車試乗、
子供ジャズダンス、もちまき、
花火大会、飲食コーナーなど

18日（土）は、JR太美駅と阿蘇公園の間をシャトルバスが運行

雪像コンクール テーマは「スクラム」

家庭・職場・地域などで参加してください。
（自宅などの敷地内で作成できない場合は、
阿蘇公園内の敷地を提供します。）

- ◆表彰 大賞ほか各賞あり
- ◆申込み ①自宅製作の場合～2月16日（木）まで。
②会場内製作の場合1月27日（金）まで。
- ◆申込方法 チラシの申込用紙に必要事項を記入の上、商工会へ。

詳しくは
チラシを
見てね！



プレイランドハッピー杯 町民雪中玉入れ大会

町内会や団体、サークルなどで
参加ください。

- ◆チーム編成
高校生以上6名（先着24チーム）
- ◆賞 優勝10万円（商品券）ほか

ボランティア スタッフ募集

一緒に楽しみながら参加しませんか？

- すべり台上の雪像作り
- 当日のイベント・会場スタッフ
- ◆対象 高校生以上

スノーマン ファンタジー 2006

町内にたくさんの雪だる
まを作りましょう。参加
者には、お楽しみ抽選会も
あります。



心温まるおもてなし



「そば処福住」が外出する機会が少ない脳卒中などの病気を抱える人の集まり「ねこやなぎの会」を食事に招待しました。

福住自慢の天ぷらそばをご馳走になった会員は「おそばはとてもおいしく、心も体も温まる」と感激し、心のこもったおもてなしにとても満足した表情でした。(11月30日)

暮らしやすい地域とは



住民の力で暮らしやすい地域づくりを考えようと「ボランティアスキルアップ講座」を町ボランティアセンターが開催。講師のNPO法人北海道総合支援センター理事長五十嵐教行さんが「日々の暮らしで自分のできることを生かし合って、地域を変えていこう」と、集まった町民に呼びかけました。(12月3日)

願いをこめて年賀状作り



西保育所と東保育所の黄組40人が一人暮らし高齢者へ防火年賀状を作りました。子供たちは、当別消防署が用意した新年の干支「戌」が描かれた年賀状に色鉛筆を使って「お年寄りが元気でいてくれたらいいな」と願いを込めて色を塗りました。出来上がった年賀状は、12月25日にポストに投函されました。(12月9日)

デジタル写真で伝える



聴覚障害を持つアマチュアカメラマン田淵博さん(北栄町)の個展「中国旅行とスナップ、音の無い世界・デジタル写真」が「あえ～る」で開かれました。会場には、中国の街角や生活風景のほか、パソコンできれいに加工された写真50点が展示され、来場者は、足を止めて見入っていました。(12月13日)

一足早くお正月気分



当別幼稚園児がまゆ玉飾りを作り、一足早くお正月気分を味わいました。園児たちは、大きな水木にカラフルなまゆ玉やお正月飾りを思い思いに付け、教室に飾られたまゆ玉飾りをうれしそうに眺めていました。また、お餅つきも行われ、つきたてのお餅で作った雑煮を、口一杯に頬張っていました。(12月16日)

北海道社会貢献賞を受賞

受賞者 竹田和雄さん(71歳)



昭和54年5月に当別町議会議員に当選して以来、議会運営委員会委員などの各種常任委員や委員長、石狩北部地区消防事務組合や石狩西部広域水道企業団議員などを歴任。

平成15年5月からは当別町議会議長として現在に至るまで町の振興発展に大きく貢献されたことが認められ受賞されました。(12月16日)

西当別コミセン図書室

	タイトル	著者
一般書	アンボス・ムンドス	桐野 夏生
	僕の妻はエイリアン	泉 流星
	新リア王	高村 薫
	やりたい仕事がある	池上 彰
	北の恵みでパン&スープ	坂下 美樹
	遠い音	フランス・イタニ
児童書	こまいちご	小暮 正夫
	こぐまの森	本田ちえこ
	ゴリラのりらちゃん	神沢 利子
	歩いて行こう	北 ふうこ
	子どものすきな神さま	新美 南吉

公民館図書室

	タイトル	著者
一般書	無事、これ名馬	宇江佐 真理
	県庁の星	桂 望実
	新 食べるな危険!	小若 順一
	「脳」が元気になる本	高田 明和
	ネコソングラジカル (中)	西尾 維新
	かんじき飛脚	山本 一力
	おこめのひみつ	榎本 功
	とべないホタルの夢	小沢 昭巳
児童書	9月のバラ	ジャネット・ウィンター
	ペネロペひとりてふくをきる	アン・グッドマン
	リサとガスパールのレストラン	アン・グッドマン

新刊

図書案内

Library

正くんファミリー
No.327 **北本久美子**



■人の動き 12月1日現在
()は前月との比較

人口	19,909 人 (4人)
世帯	7,776 世帯 (13世帯)
男	9,736 人 (-2人)
女	10,173 人 (6人)

交通安全 **冬道を安全に**

当別町の交通事故(人身事故)発生件数 (1~11月累計)

	平成17年	平成16年	増減数
発生件数	96	83	+13
死者数	2	4	-2
傷者数	131	117	+14

危ない冬道ゆっくり・ゆとりの運転を

おくやみ

氏名	年齢	世帯主	住所
小竹幸恵治	81	本人	園生
村上 利勝	85	重夫	西町
大津 サト	107	正一	弥生
泉 洋子	70	暁	当別太
秋場 スエ	73	義明	北栄町
武岡 代子	81	和廣	太美町
石橋ツタノ	91	民夫	太美町
今井 アキ	90	本人	北栄町
丹野 眞一	53	本人	六軒町
百石 俊雄	88	本人	弁華別
藤田 敏雄	87	本人	六軒町
湯川 みよ	96	橋	中小屋

ご寄付ありがとうございました

☆当別町社会福祉協議会へ
加藤悦子さん(末広)から20万円
大津正一さん(弥生)から10万円
山田幸子さん(北栄町)から5万円
山田裕一さん(当別太)から5万円
小 綾香さん(太美南)から5万円
瀬川藤吉さん(東町)から5万円
三野宮一芳さん(末広)から3万円
北の一針おばさん展 寄せ布チャリ
ティー工藤みどりさん・土井幸枝さんから3万円
渡辺ケイ子さん(樺戸町)から手編みの靴下50足
☆当別町社会福祉基金へ
大坪慶 さん(ビトエ)から10万円

町内での事故増加
運転手も歩行者も安全確認
◆道路が凍って車→止まりにくい
◆歩行者だって →歩きにくい
◆吹雪や雪山で →見えにくい
みんなで飲酒運転を追放
新年はお酒を飲む機会が増えます。
わずかな飲酒でも飲んだら乗るな・乗るなら飲むな・乗る人には飲ませない。

Brithday (11月14日~12月13日分) **おめでとう**

氏名	父	母	住所
荒谷菜音	☑ 智啓	みゆき	若 葉
井野壮琉	☑ 浩明	早苗	東 裏
渡辺翼牙	☑ 孝至	純子	西 町
萩原活弥	☑ 康広	郁子	獅子内
石坂和巳	☑ 隼人	有真	元 町
越崎 渉	☑ 清和	步	六軒町
伊藤七海	☑ 孝二	歩美	白樺町
川邊康平	☑ 雅洋	美咲	金 沢

町政功労者逝去
大坪 慶春さん(ビトエ)
平成17年11月27日逝去(90歳)
昭和45年町政功労者賞受賞
経歴 消防団員として56年間、農業委員会委員として12年間など、長年に亘り町政発展のために寄与されました。
ご冥福をお祈りいたします。

商店街活性化センター
「あえ〜る」情報

- ◆新聞で見る2005年の当別
 - ◇期間 12月21日(水)~1月8日(日)
 - ◆2006カレンダーリサイクル市
 - ◇期間 1月10日(火)~17日(火)
 - ◇収益金は当別高校国際クラブを通じてパキスタン地震被災者に送金。
 - ◆ポイントカード会抽選会
 - ◇日時 1月10日(火)11時~12時
 - ◆2005とうべつ歳末感謝 大売出し公開抽選会
 - ◇日時 1月11日(水)15時~
 - ◇景品引き替えは1月17日(火)~2月18日(土)まで。
 - ◆ボロ山くずし製作作品展 (札幌友の会衣を生かす会)
 - ◇期間 1月20日(金)~26日(木)
- 時間は10時~17時(月曜は休館、祝日の場合は翌日休館/最終日は15時まで。1月10日は開館)12月29日(木)~1月6日(金)まで休館。
詳細 あえ〜る(☎25-5116)

☑法律相談(1月は12日に実施)
日時 2月1日(水)・13時~16時 会場 「ゆとろ」(西町) 申込・詳細 事前に福祉課福祉係(☎23-3019)へ。
☑心配ごと相談(毎月第2・4木曜日に実施)〔携帯電話で24時間受け付けます。090-2070-5082へ。〕
日時 1月12日、1月26日・13時~16時 会場 「ゆとろ」(西町) 申込・詳細 町社会福祉協議会(☎22-2301)へ。

健康カレンダー

Health Calendr

1月

ゆとろ～総合保健福祉センター（西町）西コミ～西当別コミュニティセンター（太美町）

申込・詳細 福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23 - 2346）

事業名	日時	会場	対象者・内容
乳幼児	4カ月・10カ月児健診 16日 月 受付13:00～14:00	ゆとろ	該当の日程を対象者へ通知します。 お子さんの成長を確認し、子育てや離乳食など、日ごろの悩みを解消しましょう。 ◆4カ月児にBCG予防接種をします。
1歳8カ月・3歳児健診	20日 金 受付13:00～14:00	西コミ	
個別予防接種	DPT（ジフテリア・百日せき・破傷風）生後3カ月～90カ月未満 DT（ジフテリア・破傷風）11歳・12歳 麻しん 生後12カ月～90カ月未満 風しん 生後12カ月～90カ月未満		【個別予防接種が受けられる医療機関】 *勤医協当別診療所 *近藤医院 *太美中央医院 *スウェーデン通り内科循環器科クリニック *さわざき医院（要予約） *とうべつ内科クリニック（要予約）
成人向け	基本健康診査	各医療機関の診療時間の午前中	糖尿病や高血圧など生活習慣病のチェックができます。（40歳以上）
	胃・肺・大腸がん検診	25日 水 7:30～9:30	3つの検診を町内で受診できます。
	健康相談	25日 水 9:30～11:30	保健師や栄養士が健康についての相談に応じます。
	健康運動相談（指導日）	13日 金 9:30～11:30	健康運動指導士が個別に運動方法をアドバイスします。
	健康運動相談	毎週月・金曜 9:30～11:30（10日から）	必要な方はゆとろの運動器具を使った運動実践ができます。
	リハビリ教室	18日 水 10:30～14:30	脳卒中、神経難病などにより、体や言葉に不自由さがある方。
	友遊会	24日 火 10:00～12:00	外に出る機会の少ない高齢の方。
	かすみ草の集い	26日 木 10:30～14:30	
	断酒会	16日 月 18:00～21:00	お酒で悩んでいる方とその家族。 （断酒会の申込み・詳細） 日中は江別保健所☎011 - 383 - 2111 夜間は工藤☎22 - 2510

2月の予定

内容	日にち	時間	場所	内容	日時	時間	場所
巡回ドック	2日(木)・3日(金)	7:30～	ゆとろ	4カ月10カ月児健診(BCG)	13日(月)	13:00～	ゆとろ
マタニティスクール	7日(火)	13:00～	ゆとろ	友遊会	14日(火)	10:00～	ゆとろ
リハビリ教室	8日(水)	10:30～	ゆとろ	健康運動相談	毎週月/金	9:30～	ゆとろ

この冬こそ運動を！健康運動相談（指導日）を始めませんか？

冬の時間を使って健康づくりをしませんか？健康運動指導士があなたに合った運動プログラムを作りアドバイスします。ご希望の方は、3カ月間を目標に運動メニューに沿って、運動を継続できます。また、保健師・栄養士も健康づくりのお手伝いをします。

対象 生活習慣病予防やダイエットのために運動を始めたい方。
日程 1月13日、2月24日、3月31日（いずれも金曜日）
時間 9時30分～11時30分（指定する時間を連絡します。）
会場 ゆとろ（西町）
内容 運動プログラム作成とアドバイス、体重・体脂肪・血圧測定、柔軟性・持久力などの体力測定。
申込・詳細 福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23 - 2346）



体からの危険信号見逃さないで!

◇農作業による体への負担

「農作業しているから、運動はしなくていいと思う」という話をよくお聞きします。農作業は、家事や事務仕事に比べると、運動量は多く、消費カロリーは多いのですが、重いものの上げ下ろしや同じ姿勢での作業が続くことは、同じ関節や筋肉ばかりに負担がかかりやすく、関節や筋肉を傷める原因になります。

◇負担の積み重ねが...

20〜30歳代のころは、体に少し無理をかけても、次の日には疲れや痛みが残らない方が多いようですが、40歳を過ぎると、徐々に症状が悪化し、病院・湿布・注射のお世話になる方が増えていくようです。当別町では、筋肉や関節の病気で通院されている人は、高血圧に続いて2位になっています。

老人クラブのアンケートでは、6割の人が膝関節痛・腰痛があると回答しています。膝関節痛や腰痛は、高齢者の外出の機会を減少させ、その結果、寝たきりや認知症へと結びつく大きな原因の1つです。

◆男性のための運動教室◆

日時	1月19日(木) 13時30分〜15時30分
場所	総合体育館(白樺町)
対象	農作業している概ね65歳未満の町民男性。
内容	簡単体力測定 講演・実習「農作業が体にかける負担とその解消法について」 講師 斎川義章(健康運動指導士)
申込期限	1月13日(金)
申込・詳細	福祉課保健サービス係「ゆとろ」内・☎23 2346

町保健師 東方 希子

◇痛み支配される前に

では、どうしたら良いのでしょうか? まだ、このくらいの痛みなら大丈夫と過信せずに、仕事の合間や就寝前にストレッチなどで、こまめに筋肉疲労を解消することが、農繁期の肉を落とさずいることが、農繁期の急な負担をさけることにつながります。と、言うのは簡単ですが、一人では始めるのは、とても大変。でも、今始めないと、痛くて動かせなくなってしまうことは遅いのです。少しずつできることから始めませんか?
町では、次の日程で男性のための運動教室を開催します。ぜひ、お気軽に参加してください。



Hospital

内科系急病当番医

平日 ⇒ 19時〜21時
土曜日 ⇒ 14時〜17時
日曜・祝日 ⇒ 9時〜12時・14時〜17時



年末年始に食べた
ごちそうの分は
「運動」で
しっかり消費しよう!

医療機関

勤医協当別診療所	☎23-3010	末 広
近藤医院	☎23-2021	園 生
さわざき医院	☎25-2055	北栄町
とうべつ内科クリニック	☎22-1313	西 町
太美中央医院	☎26-2332	太美南
スウェーデン通り 内科循環器科クリニック	☎25-3151	太美町
堀江病院	☎22-3111	樺戸町
当別ファミリークリニック	☎26-4649	ビトエ
北海道医療大学歯科内科クリニック	☎23-1211	金 沢

上記の機関で、基本健康診査を受けることができます。

1月 (内科系急病当番医)

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
とうべつ	さわざき	堀 江	近 藤	堀 江	勤医協	堀 江
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
スウェーデン	太 美	とうべつ	さわざき	堀 江	近 藤	堀 江
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
勤医協	堀 江	スウェーデン	太 美	とうべつ	さわざき	堀 江
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
近 藤	堀 江	勤医協	堀 江	堀 江	太 美	とうべつ
29日	30日	31日	1月4日までは、日曜、祝日の時間帯になります。			
さわざき	堀 江	近 藤				

2月 (内科系急病当番医)

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
堀 江	勤医協	堀 江	堀 江	スウェーデン	とうべつ	さわざき
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
堀 江	近 藤	堀 江	勤医協	堀 江	堀 江	スウェーデン

全町民へ歯の健康サポートを 目指して

北海道医療大学歯学部口腔衛生学講座教授
「歯の健康プラザ」所長 千葉 逸朗さん



千葉教授

1日歯医者さんの様子

◆歯の健康プラザを 開設したきっかけは――

みなさんは、なぜ歯を大切にしなければならぬか知っていますか？

歯が抜けても生死には直接関係ありませんが、年をとっても食べたいものを口にするなど、生活の質を高く保つために歯は必要不可欠です。

町民の方にいつまでも健康な歯を維持してもらおうと考えていますが、歯の健康に対する意識が、まだ低いと思います。

平成16年8月に駅南口に開設した「歯の健康プラザ」では、食生活やブラッシングの指導などを行うことでみなさんの歯に対する意識を高め、いつまでも健康な歯を維持する手助けをしていきたいと考えています。

◆町民との交流活動に 力を入れているようですね――

力を入れているようですね――

町民の方にこの活動を理解してもらったためには、プラザに足を運んでもらうことが必要です。11月26日に子供を対象に「1日歯医者さん」というイベントを開催しました。

大学からは、歯学部や歯科衛生士専門学校がボランティアとして参加し、ブラッシング指導や紙芝居を披露し、子供たちと楽しく交流しながら歯の大切さを伝えることができました。新年度は、大学をもっと身近に感じてもらうように「病院探検隊」などの企画も考えています。イベントを通して、もっと自分たちの活動をPRして、気軽に入りできる場所にしたいですね。

◆これからはどのような活動を 展開していくのですか――

展開していくのですか――

1年間の活動を通して、プラザが町民に浸透してきたと感じています。このプラザを通して、ますます大学と地域が交流することで当別町のみなさんが健康な歯で生き生きと生活できれば良いと思います。

現在、大学では「当別2万人歯の健康プロジェクト」を立ち上げており、全町民の歯の健康を維持していきたいと考えています。今後、大学と地域が上手に連携を図ることができればと考えています。

1月は、ヨガ教室を企画しています。詳しくは、14ページのお知らせをご覧ください。

当別の風景

「冬空に戯れる」

石狩川河川敷にて撮影

写真提供 金子 景次郎さん(太美町)

